



前川國男とル・コルビュジエ

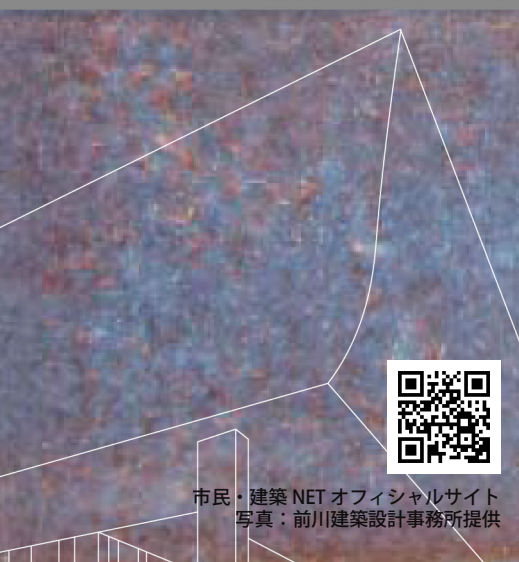
使われ続ける建築の 保存と継承

～東京文化会館と国立西洋美術館の免震化工事～



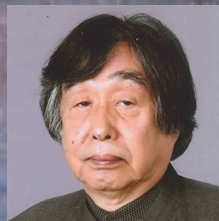
永く使われ続ける建築は、人々の記憶や思いを未来に紡いでいきます。上野の東京文化会館（設計：前川國男）と国立西洋美術館（本館設計：ル・コルビュジエ、新館設計：前川國男）も、様々な時代の要請に応じながら、設計された時代を今につないできました。さらに次世代に向け、東京文化会館は 2026 年からの大規模改修を予定しています。

今セミナーでは、ふたつの建物が、材料劣化、法改正、様々な社会的要請といった課題に取り組み、解決してきた事例紹介を交え、前川建築のデザイン手法（「建築素材」「ディテール」に基づく「空間の創りこみ」）を語ります。ふたつの建物の魅力と、建築の望ましい保存と継承について知り、考えを深める貴重な時間となるでしょう。



市民・建築 NET オフィシャルサイト
写真：前川建築設計事務所提供

橋本 功
前川建築設計事務所所長
市民・建築 NET 幹事



日時：2025 年 6 月 8 日（日）
14:00～15:40 ごろ（13:45 開場）
場所：東京文化会館大会議室（4 階）
講師：橋本 功
参加費：1000 円
定員：80 名（要予約、先着順）
申込先：cit_arch_net1@tmiblove.com
（メールのみ）

申込受付期間：2025 年 5 月 21 日（水）正午
～ 6 月 7 日（土）正午

録画配信：市民・建築 NET サイトにて
（2025 年 8 月予定、事前予約不要）

主催：市民・建築 NET
<https://tmiblove.com/>

※留意事項：当日入場可能なのは、東京文化会館
大会議室（4 階）とエントランス（1 階）のみです